

ご 案 内



2018年11月9日

国立研究開発法人海洋研究開発機構

国立大学法人東京大学生産技術研究所

国立大学法人九州工業大学

国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所

三井 E&S 造船株式会社

日本海洋事業株式会社

株式会社 KDDI 総合研究所

ヤマハ発動機株式会社

日本発の海底探査チーム「Team KUROSHIO」

Shell Ocean Discovery XPRIZE 「Round2 実海域競技」(決勝)

出発式開催のお知らせ

国立研究開発法人海洋研究開発機構、国立大学法人東京大学生産技術研究所、国立大学法人九州工業大学、国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所、三井 E&S 造船株式会社、日本海洋事業株式会社、株式会社 KDDI 総合研究所及びヤマハ発動機株式会社からなる「Team KUROSHIO」は、海中ロボット等を用いて、超広域高速海底マッピングの実現を目標とする海底探査技術の国際コンペティション「Shell Ocean Discovery XPRIZE」(※)に挑戦しており、2018年11-12月に行われる「Round2 実海域競技」(決勝)へ進出いたしました。Team KUROSHIOは12月9日-19日にギリシャ共和国・カラマタ沖にて「Round2 実海域競技」(決勝)に臨みます。

この度、「Team KUROSHIO」が「Round2 実海域競技」(決勝)へ向かうにあたり、「Round2 実海域競技」(決勝)に向けた決意表明を行うとともに、これまでのチームの挑戦の歩みを紹介する出発式を開催いたします。ご多忙の所大変恐縮でございますが、何卒ご参加いただきますようお願い申し上げます。

※XPRIZE について

1995年に設立された米国の非営利組織である「XPRIZE 財団」によって運営され、世界の大きな課題を解決することを目的とした世界コンペティション。「学習」「探査」「エネルギーと環境」「世界規模の開発」「生命科学」の5分野をテーマとする。最近では、民間による最初の月面無人探査を競う「Google Lunar XPRIZE」が話題となった。Shell Ocean Discovery XPRIZE の概要については、別紙1をご参照ください。

1. 日時：

2018年11月23日（金・祝）

- （1）11:30-12:00 出発式：チームメンバー紹介・決意表明 等
- （2）12:30-15:00 Team KUROSHIO 及び協賛社による展示・説明

2. 展示・説明内容（予定）

- ・AUV-NEXT 1/1 模型、パネル展示（Team KUROSHIO）
- ・サッカーロボット PK 対決、各種ロボット展示（九州工業大学）
- ・パネル、映像展示（三井 E&S 造船株式会社、日本海洋事業株式会社、ベネッセコーポレーション株式会社、シチズン時計株式会社）
- ・製品展示（トーホーテック株式会社）
- ・水深 1,000m の水圧を見てみよう！（はまぎん子ども宇宙科学館）
- ・深海博士×深海女子の深い話（深海女子、海洋研究開発機構）

3. 開催場所：横浜ランドマークタワー・ドックヤードガーデン

https://www.yokohama-landmark.jp/event_space/

4. 出席者：

中谷武志（海洋研究開発機構 海洋工学センター 技術研究員 Team KUROSHIO 共同代表）
大木 健（海洋研究開発機構 地震津波海域観測研究開発センター 技術研究員 同上）
西田祐也（九州工業大学若手研究者フロンティア研究アカデミー 助教 同上）
稲葉祥梧（海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所 海洋先端技術系 研究員）
各務 均（三井 E&S 造船株式会社 製造本部 玉野艦船工場 特機・水中機器部 主任）
石川暁久（日本海洋事業株式会社 深海技術部 一等潜技士）
西谷明彦（株式会社 KDDI 総合研究所 環境計測プロジェクト 研究主査）
進藤祐太（ヤマハ発動機株式会社 先進技術本部技術企画統括部横須賀 主事）

5. 取材申込

お手数ですが、11月21日（水）17時までにファックス（別添1）かメール（[press\(at\)jamstec.go.jp](mailto:press(at)jamstec.go.jp)）にてお申しいただけますようお願いいたします。

6. お問い合わせ先

Team KUROSHIO 広報担当 杉山・安蒜 電話：046-867-9250

荒天時には中止若しくは展示内容を一部変更させていただくことがあります。中止の場合は、当日10:00までに Team KUROSHIO SNS にてご案内させていただきます。

Shell Ocean Discovery XPRIZE について

○目標

- ・500km²の海底マッピング（解像度：水平 5 m、垂直 50cm 以上）の実現

○主なルール

- ・支援母船を用いない等、海域に人が立ち入らない（海域へのロボットの展開・回収含む）
- ・機材の持込みは 40feet コンテナ 1 つまで
- ・調査後 48 時間以内での海底地形図の作成及び提出

○賞金総額

- ・700 万ドル（約 8 億円）

○コンペティション内容

Shell Ocean Discovery XPRIZE では下記の 2 ラウンドで海底マッピング技術を競います。

①Round1 技術評価試験（2018 年 1 月実施）

- ・高速かつ広域での海底探査に必要な 11 項目の技術に関する評価試験

②Round2 実海域競技（2018 年 11-12 月開催）

- ・水深 4,000m で 24 時間以内に最低 250km² 以上の海底マップ構築
- ・海底ターゲットの写真撮影（10 枚）

○Shell Ocean Discovery XPRIZE のスケジュール

Shell Ocean Discovery XPRIZE はおよそ 3 年間にわたるコンペティションです（図参照）。現在は Round2 実海域競技に向けて、機器の輸送及び現地整備拠点との最終確認を行っています。



(ファックス返信用紙)

取材をご希望される場合は、**11月21日(水) 17時**までに以下の事項をご記入の上、本紙を送信願います。

海洋研究開発機構広報部報道課 行
(FAX 046-867-9055)

日本発の海底探査チーム「Team KUROSHIO」
Shell Ocean Discovery XPRIZE「Round2 実海域競技」(決勝)
出発式 参加申込
(平成30年11月23日(金・祝))

所属： _____

氏名： _____

メールアドレス： _____

当日の連絡先(携帯番号など)： _____

持込機材： テレビカメラ スチールカメラ ガンマイク 三脚
その他 (_____)

※にチェックを入れてください。

上記ご登録でお預かりした個人情報は、当機構が実施いたします本記者説明会関連で登録者ご本人様との連絡のみに利用します。当機構の個人情報保護についての基本方針が必要な方は、本件お問い合わせ先までご連絡ください。